

---

# 野原とカニ

原田

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

野原とカニ

### 【Nコード】

N7440V

### 【作者名】

原田

### 【あらすじ】

浜辺の悪事好きなカニが、雄大な野原との出会いで、成長していく、とってもいいお話。

それは強くて怖くて、悪いカニが変わっていく話である。

海がきれいな浜辺で、いつものようにカニは人間の足に次々と乗っかっていつて、人間の悲鳴をただだとカニは、聞き流すばかりだった。中では海の管理員を呼び、カニを捕まえさせようとした人もいた程である。

そんなある日、カニは海の駐車場に止まっていた、シルバーのエステイマ（トヨタの3列シートワゴン車）のヘッドライトに取り付き、やがてエステイマは、林を抜け、野原に到着した。

エステイマのエンジンが止まった。

エステイマの中から、20代前半位の、若い女の子達が、8人も水着のまま、野原にある花を摘みに、降りていった。

カニは、ここがどこだろうと、最初はビビッていたが、野原を見ているうちに、感動のあまりに涙ぐみ始めた。

緑が広がる大地に、色とりどりの花。カラフルな野原が、カニに微笑んでいる。

上を見たら、青空が無限大に広がって、爽やかな気分になんてくれる。

カニはこの景色で、善を尽くすようにと、自分に言いつけるようになった。

その頃、水着や頭、足などに花を飾った女の子達が、エステイマに乗って出発していった。

カニは、女の子達に感謝し、ハサミ腕を振っていった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7440v/>

---

野原とカニ

2011年10月9日12時53分発行